



やぶねり体験(6年)

6月25日(土)、6年生が土曜授業で「やぶねり体験」を行いました。地元の中区青年団の皆様にご教授いただきながら、白塚地区伝統の「やぶ」を作りました、その後、運動場にやぶを運んで、青年団のみなさんといっしょにやぶねりを行いました。青年団のみなさんの大迫力に圧倒されながらも、子ども達も元気に「よい！よい！よい！」「エアナッチャ、エアナッチャ」と、かけ声をあげながら、やぶねりを体験しました。

教えていただいたお礼に、最後に、青年団の方に「校歌」と「翼をください」の歌を聞いていただきました。

子ども達が作ったやぶは、しばらく児童昇降口に飾ってありますので、学校におこしの際には是非ごらんください。



プール水泳が始まりました！

6月20日からプール水泳が始まりました。

昨年、一昨年と中止していましたが、本年度は以下のような感染対策を行いながらプール水泳を実施していきます。

- ・プール開始前に児童の体温測定を実施する
- ・プールの狭い更衣室を使用せず、広い教室で更衣する
- ・入水する時以外はマスクを着用する
- ・大声を出したり不必要な会話をしたりしない

すぐ着用できるように、マスクは袋に入れてフェンスにぶら下げています



※プール開きの日の5年生の様子です。みんな、気持ちよさそうに泳いでいました。

ハマヒルガオ再生プロジェクト(6年)

昨年度に引き続き、本年度も白塚小学校前の海岸で堤防新設の工事が行われます。この工事によって、現在、海岸で生育しているハマヒルガオ等の貴重な植物が失われてしまうことが危惧されています。ハマヒルガオ等の植物が生育している海岸は全国的にも珍しいそうで、工事によって失われないよう、「白塚の浜を愛する会」がハマヒルガオを一時的に避難させる「ハマヒルガオ再生プロジェクト」を行っています。



白塚海岸に自生するハマヒルガオ

6月8日、6年生がハマヒルガオ再生プロジェクトに参加しました。



30分ほどの作業で、たくさんのハマヒルガオを避難させることができました。堤防の工事が終了したら、白塚の海岸にハマヒルガオを戻す予定です。

熱中症予防とマスク着用について

朝から暑い日が多くなってきました。今後、更に気温や湿度が高くなり、熱中症のリスクが高くなることが心配されます、

厚生労働省や文部科学省等の資料でも、マスク着用で熱中症リスクが高まる恐れがある例として、**体育の授業や登下校時が例示**され、マスク着用が必要ない場合と位置付けられています。(詳しくは本日配布しました「**マスク着用に関するリーフレット**」をご覧ください。)

こういった状況から、学校でも**体育の授業や登下校の時などで、暑くて息苦しい場合などで熱中症が心配される場合には、子どもたちにマスクを外すよう声掛けをしています。ただし、マスクを外した場合は、会話は控え、人との距離を取ることも指導していきます。**(↑マスク着用に関するリーフレット抜粋)

新型コロナウイルス感染症対策

子どものマスク着用について

人との距離(2m以上を目安)が確保できる場合においては、マスクを着用する必要はありません。また、就学前のお子さんについては、マスク着用を一律には求めています。

目安 2m 以上

就学児について (小学校から高校段階)

マスク着用の必要がない場面

屋外

- 人との距離が確保できる場合
- 人との距離が確保できなくても、会話をほとんど行わないような場合
- ＜例＞離れて行う運動や移動、鬼ごっこなど密にならない外遊び
- ＜例＞屋外で行う教育活動(自然観察・写生活動等)

屋内

- 人との距離が確保でき、会話をほとんど行わないような場合
- ＜例＞個人で行う読書や調べたり考えたりする学習

学校生活 屋外の運動場に限らず、プールや屋内の体育館を含め、体育の授業や運動部活動、登下校の際

※運動部活動において接触を伴う活動を行う場合には、各競技団体の作成するガイドライン等を確認しましょう

※活動中以外の練習場所や更衣室等、食事や集団での移動を行う場合は、状況に応じて、マスク着用を含めた感染対策を徹底しましょう

高齢の方と会う時や病院に行く時は、マスクを着用しましょう。

お知らせ

7月8日(金)夕方から7月10日(日)終日、**白塚小の東側(海側)駐車場は閉鎖され、使用できません。**